

(3) 政策面へのアプローチについて 〔認知度・意欲〕

1. 認知度・意欲の現状把握

◆ アンケート調査の実施

【個人アンケート】

① グリーンインフラ施設での調査 **〔※速報値〕**

- ・ 調査期間 : 令和6年12月～ (調査中)
- ・ 調査対象者 : レインガーデン等を見た公園利用者
- ・ 回答数 : 252サンプル

② WEBモニターへの調査

- ・ 調査期間 : 令和6年12月4日 (水) ～12月6日 (金)
- ・ 調査対象者 : 都内在住の20歳以上の個人
(インターネットのモニター調査)
- ・ 回答数 : 1,000サンプル

【事業者アンケート】

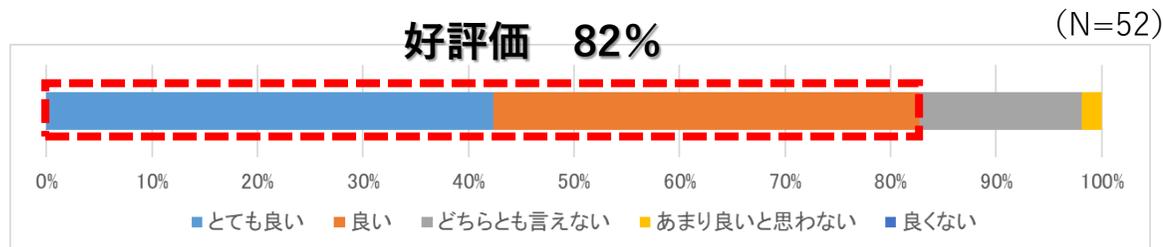
- ・ 調査期間 : 令和6年12月
- ・ 調査対象者 : 都内事業者
 - A. グリーンインフラに関する活動を **推進している事業者**
 - B. " " を **特に何もしていない事業者**
- ・ 回答数 : 各100サンプル

1. 認知度・意欲の現状調査

◆ アンケート調査結果（個人：グリーンインフラ施設での調査〔※速報値〕）

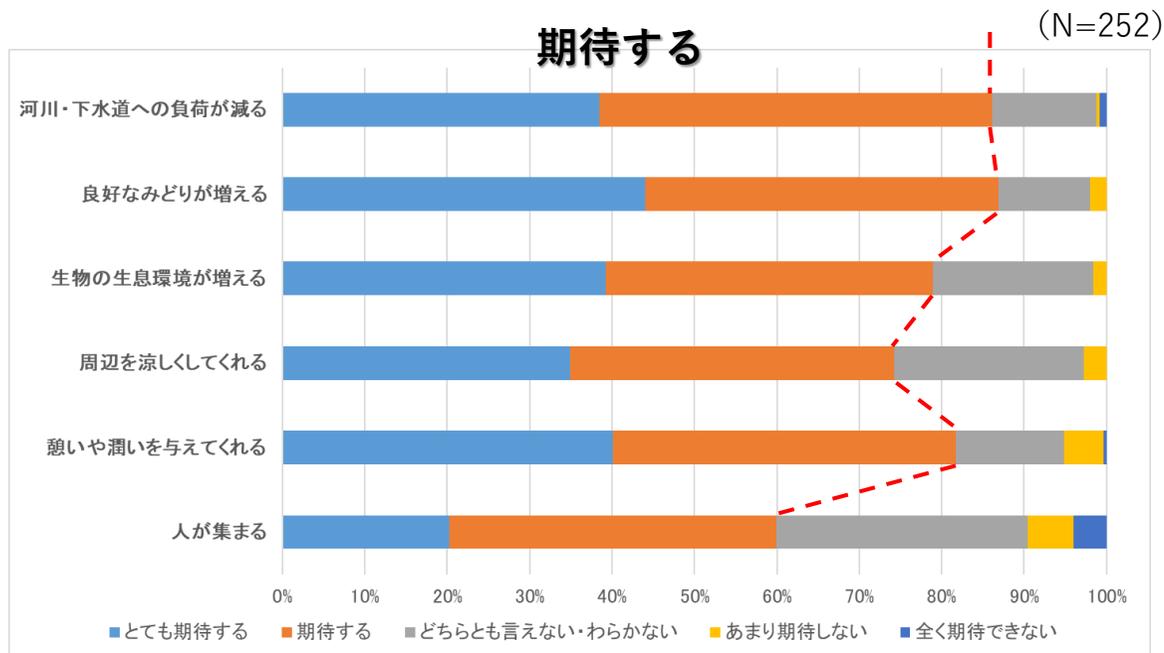
調査地点：大島小松川公園、明治公園、六仙公園、総回答数：252

Q1. グリーンインフラ施設〔「レインガーデン」「バイオスウェル」〕の評価は？



※ 大島小松川公園における調査結果のみを掲載

Q2. グリーンインフラ施設を実際に見られて、次の各項目の効果への期待度は？



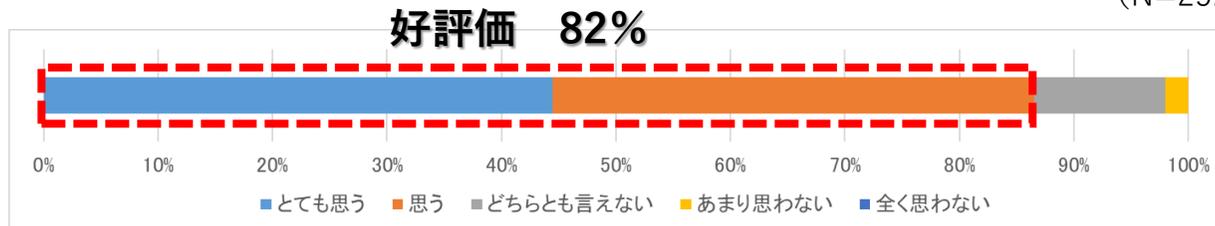
1. 認知度・意欲の現状調査

◆ アンケート調査結果（個人：グリーンインフラ施設での調査〔※速報値〕）

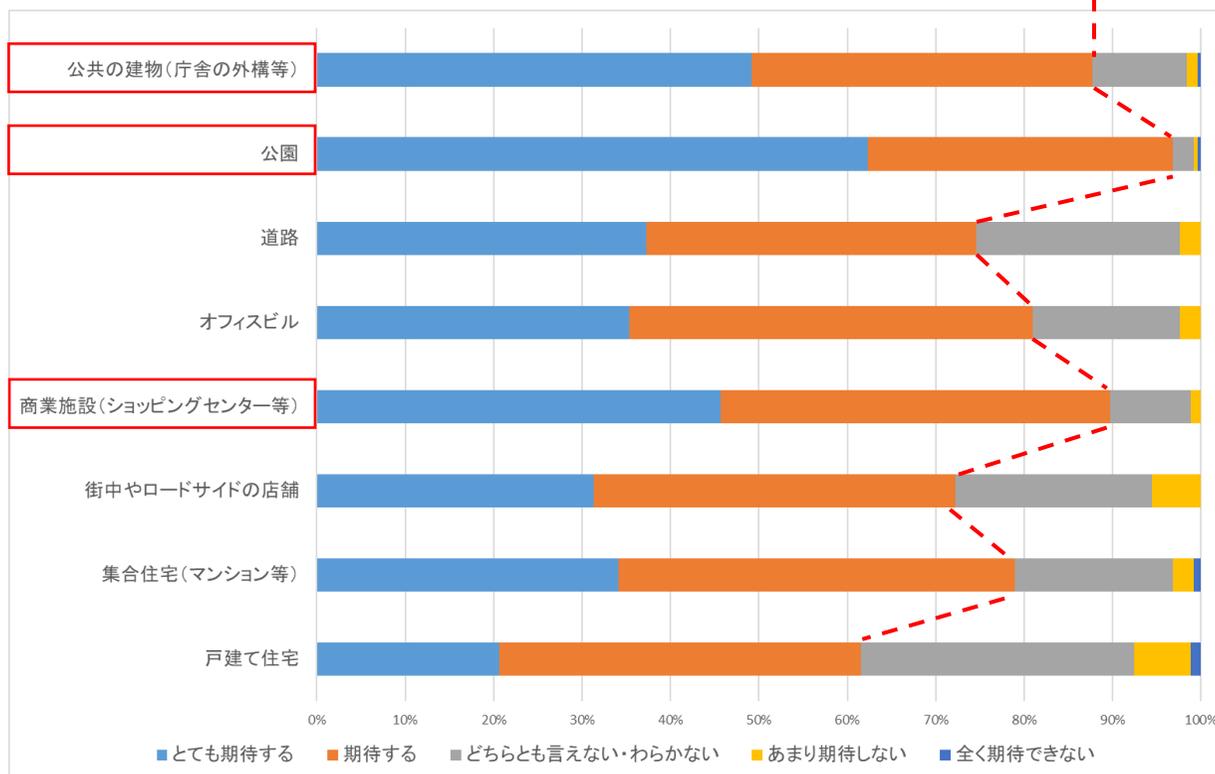
調査地点：大島小松川公園、明治公園、六仙公園、総回答数：252

Q3. グリーンインフラ施設がもっと多くの場所にあるべきだと思いますか？

(N=252)



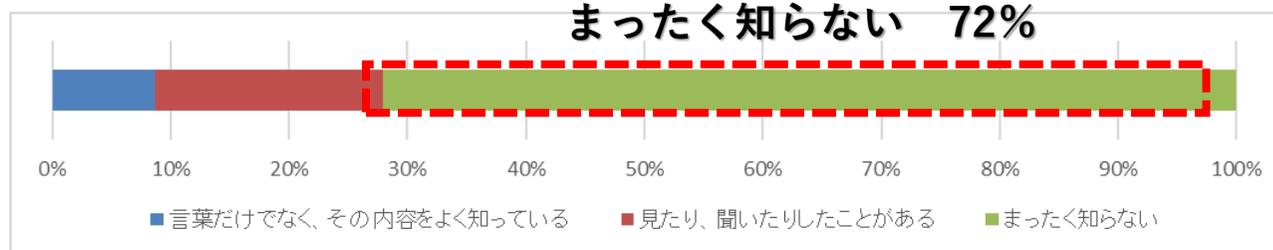
Q4. どのような場所や施設で『雨庭』や『緑溝』の整備が進むと良いと思いますか？ (N=252)



1. 認知度・意欲の現状調査

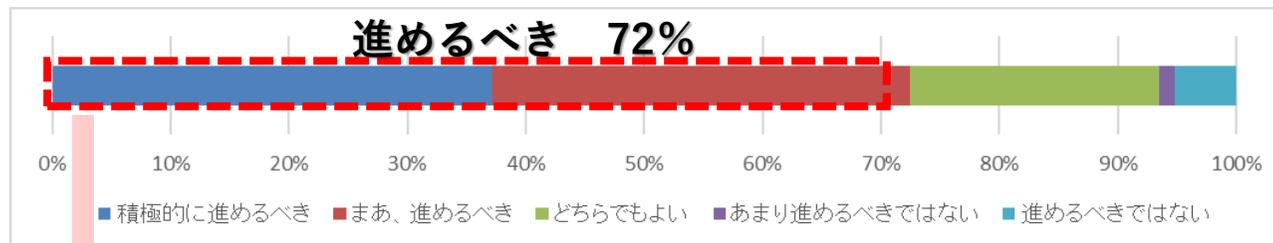
◆ アンケート調査結果（個人：② WEBモニターへの調査）

Q1. あなたは「グリーンインフラ」という言葉をご存知ですか。（N=1,000）



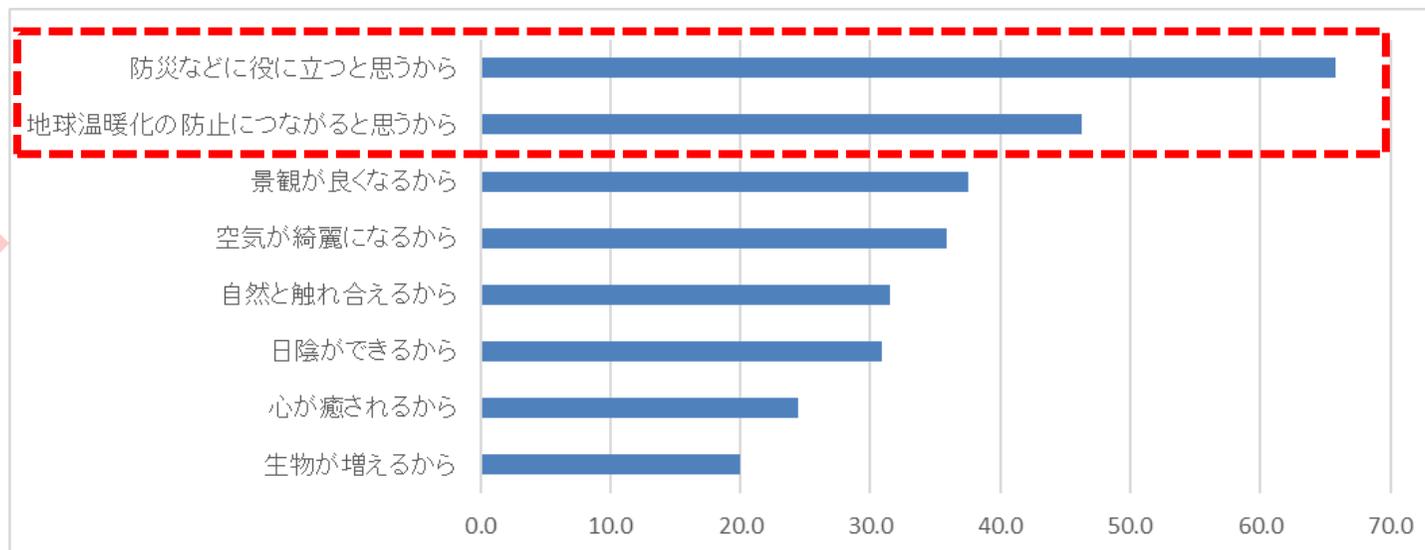
※ 別途調査（グリーンビズ）の結果も同程度の認知度

Q2. 市街地においてグリーンインフラを推進することに関して、どう思いますか。（N=1,000）



複数回答可（%）

理由

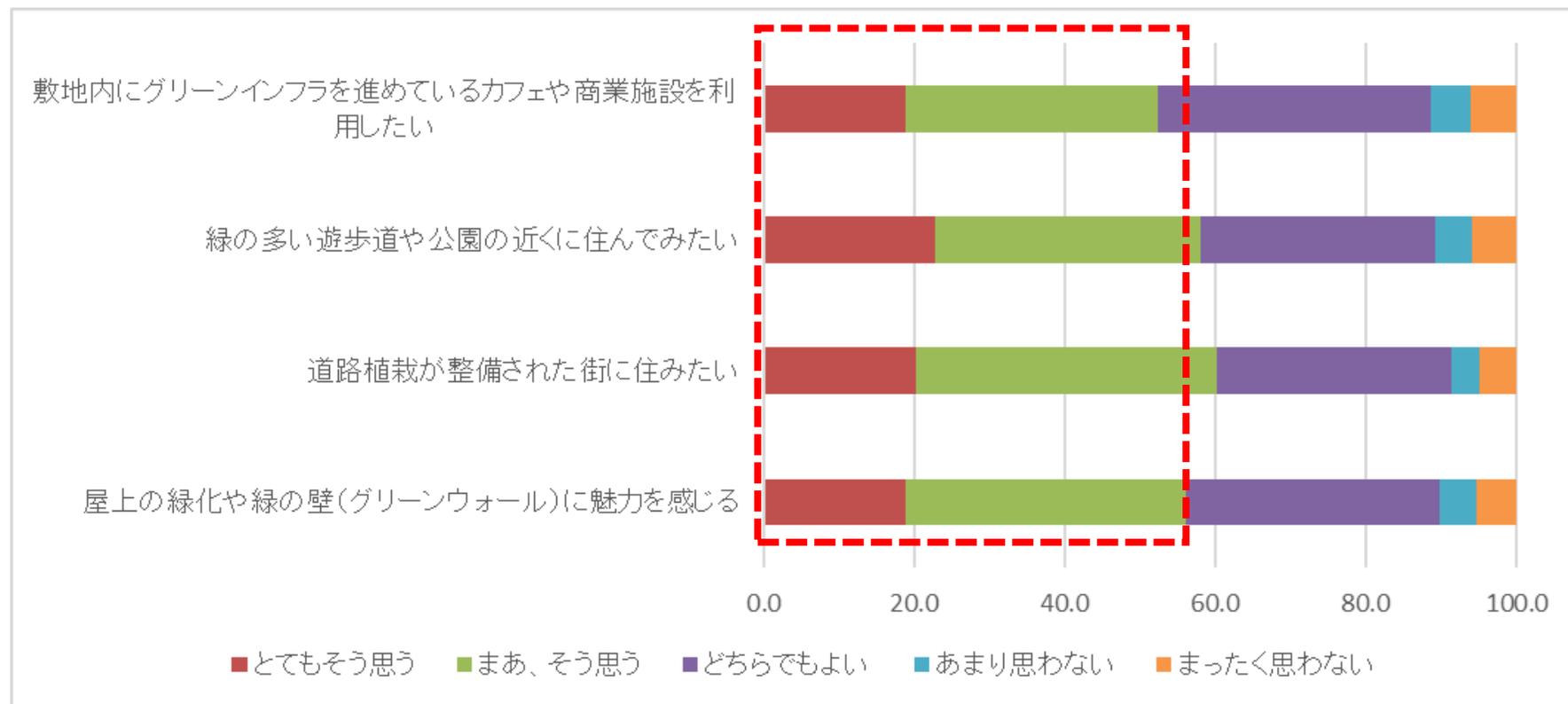


1. 認知度・意欲の現状調査

◆ アンケート調査結果（個人：② WEBモニターへの調査）

Q3. 市街地においてグリーンインフラを推進することに関して、お気持ちで当てはまるもの。
(N=1,000)

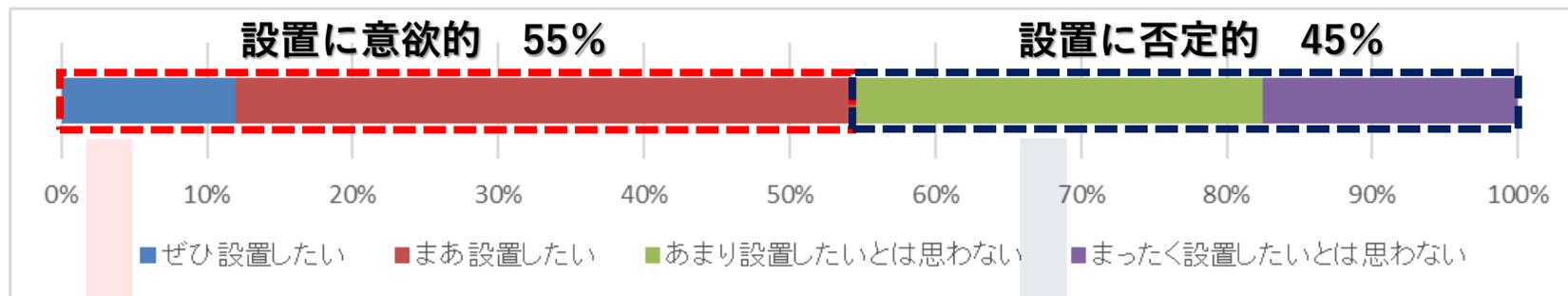
好意的な印象が半数以上 (％)



1. 認知度・意欲の現状調査

◆ アンケート調査結果（個人：② WEBモニターへの調査）

Q4. あなたはご自宅にグリーンインフラを設置したいですか。（N=1,000）

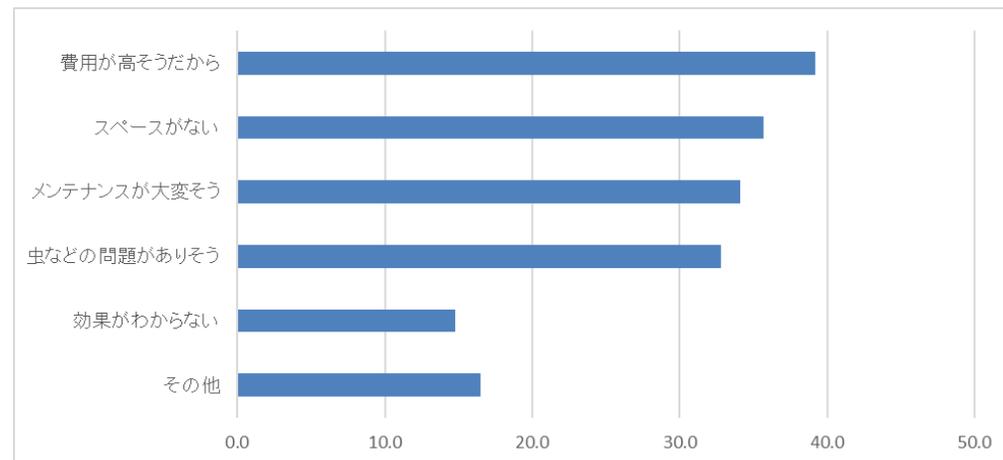
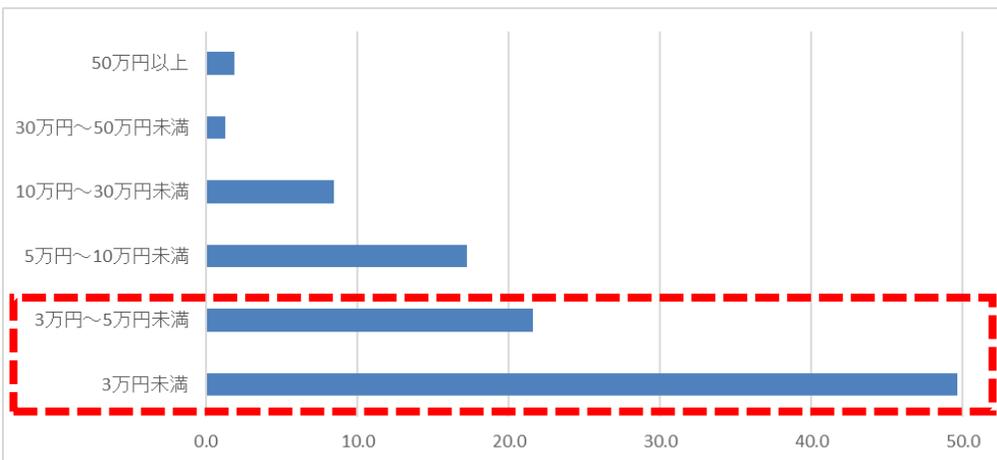


設置に投じれる費用

理由

(%)

複数回答可 (%)



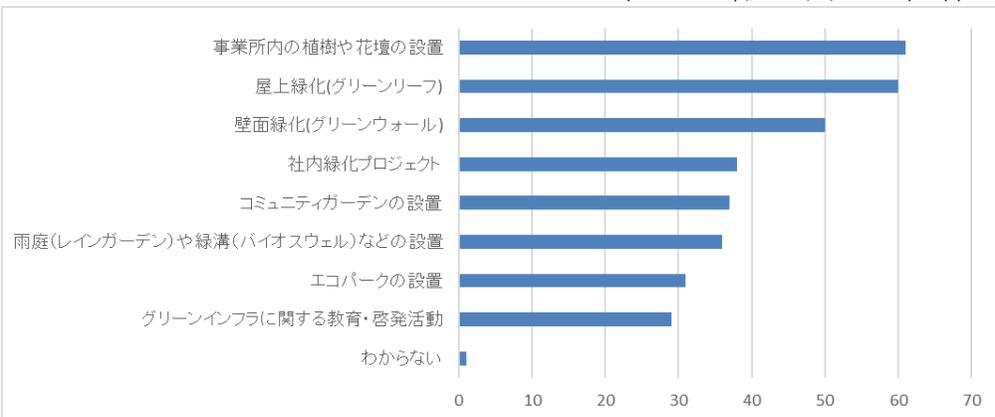
1. 認知度・意欲の現状調査

◆ アンケート調査結果（事業者）

〔**推進している事業者**の回答〕

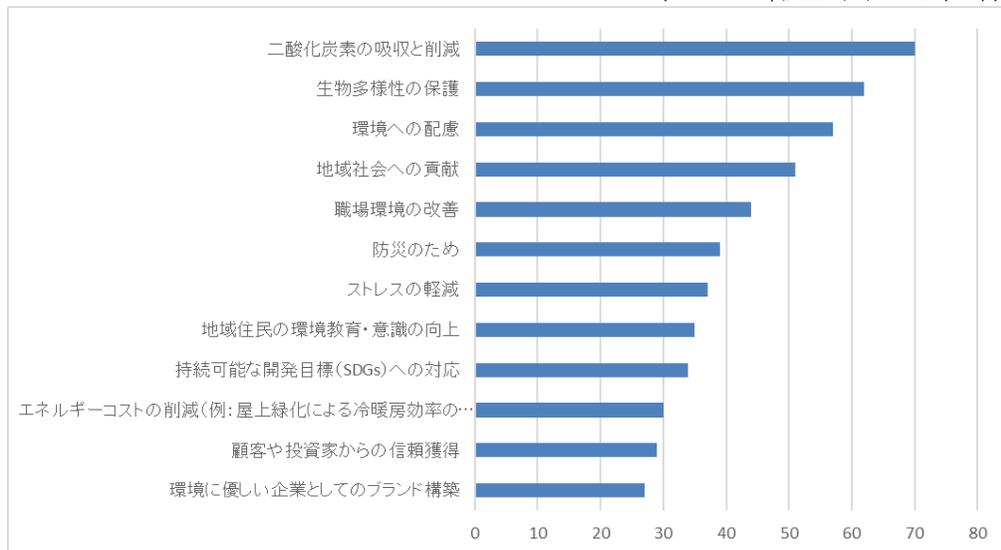
Q5-1. 取り組みを行っている内容

(N=100,複数回答可(%))



Q5-2. 取り組みを行っている目的

(N=100,複数回答可(%))



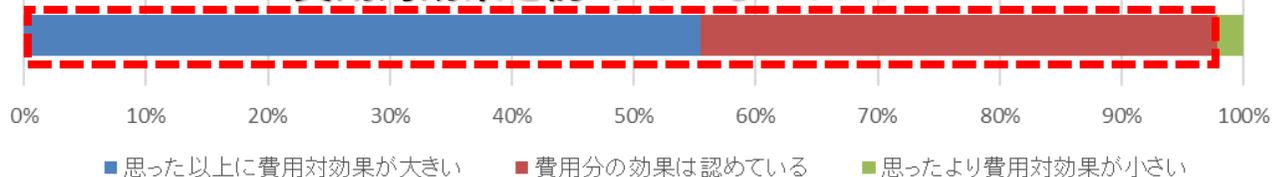
Q5-3. 取り組みの効果 (N=100)

効果がある 92%



費用対効果

費用対効果を認めている 98%

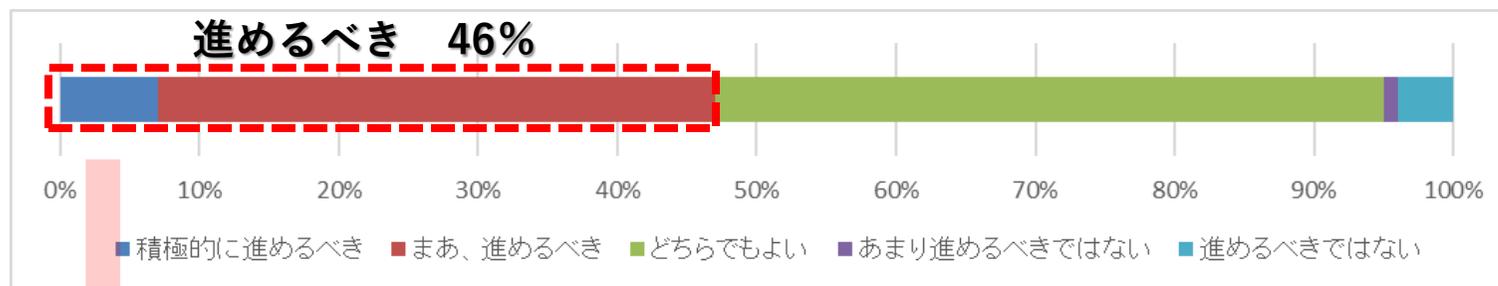


1. 認知度・意欲の現状調査

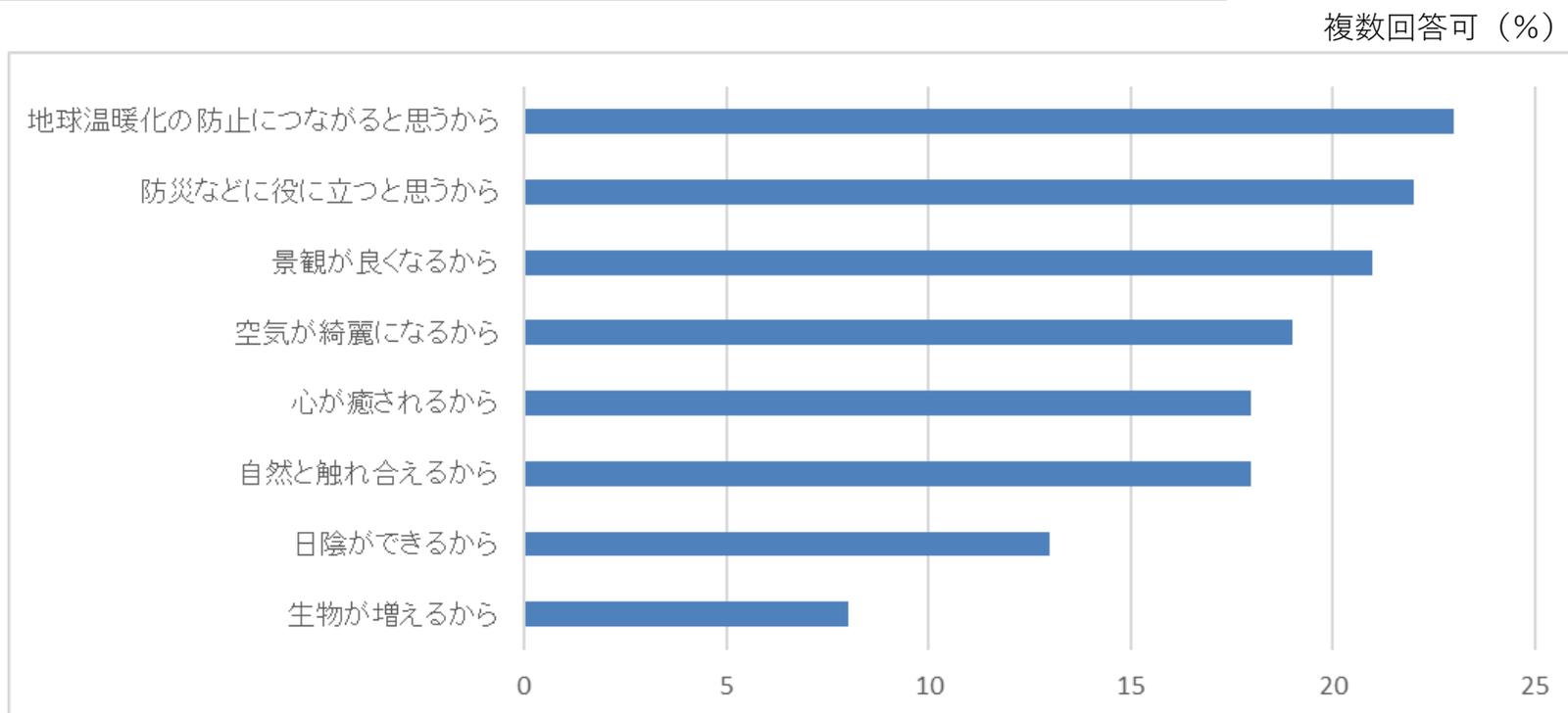
◆ アンケート調査結果（事業者）

〔特に何もしていない事業者の回答〕

Q6. 今後、事務所の敷地内などにグリーンインフラを推進することに関してどう思いますか。（N=100）



理由



1. 認知度・意欲の現状調査

◆ アンケート調査結果（まとめ）

【個人アンケート】

- ・ 認知度は3割未満と乏しい状況
- ・ 防災面等から事業推進に7割以上が好意的
- ・ 個人宅への設置について、半数以上が意欲的であるが、費用感や効果のイメージに課題

【事業者アンケート】

- ・ 推進している事業者の多くが効果を実感しており、費用対効果も認知
- ・ 特に何もしていない事業者の半数でも、防災面等から実施に意欲的



- ・ 認知度、意欲の更なる向上を図る施策展開
- ・ 個人が取り組める事例やモデル紹介
- ・ 事業者の導入に伴う費用対効果の事例等を示していく

3. 認知度・意欲の向上のための今後の展開取組

◆ 意見交換会の開催（令和7年2月7日(金)）



雨水しみこみプロジェクト
雨水しみこみアンバサダー情報交換会

（日時）令和7年2月7日（金）13:00～15:00
（会場）新宿NSビル30階 スカイファンテスルーム5・6
（内容）出展展示ブースにて、取組紹介、デモンストラクション等を実施
（参加）申し込みURL・参加費無料（当日会場参加可能）
<https://logofom.jp/form/tmgform/849366>
（主催）東京都 都市整備局 都市整備部
事務局：株式会社ヒップ（03-3370-2411）

【会場】新宿NSビル30階
スカイファンテスルーム5・6

（プログラム）
13:00 開会
13:20 主催者挨拶：東京都 都市整備局（PR動画紹介）
13:30～14:30 アンバサダー取組紹介（令和6年度表彰団体）
15:00 閉会

東京都では、気候変動による激甚化・頻発化する豪雨災害に備え、河川や下水道がふたれないようするため、雨水を街の中で、一時的に貯めたり、しみこませていくまちづくりを進める『雨水しみこみプロジェクト』をスタートさせました。

行政・事業者・地域で活動する団体などの日々の取組を通して、広く普及啓発を行う『雨水しみこみアンバサダー』による雨水貯留浸透施設の技術・製品やレインガーデン（雨庭）等のグリーンインフラ導入事例等の紹介・情報交換を行います。

東京の『しみこませるまちづくり』の取組をご覧ください。

【雨水しみこみアンバサダーへの申し込み】ホームページ（下記URL）もしくはQRコードより申請してください
https://www.toshiseibi.metro.tokyo.lg.jp/irban/gou_houpin/amamashimikomi.html
【問い合わせ先】東京都 都市整備局 都市整備部 調整課 施設計画課 03-3380-3386

◆ 学校等での出前講座の実施



◆ しみこみプロジェクトのWEBサイトの開設（年度内）



雨水しみこみプロジェクト

雨水しみこみプロジェクトは
雨水とまちづくりについて考えます

雨水しみこみプロジェクトとは
東京都では、雨水を「しみこませる」まちづくりを進める
『雨水しみこみプロジェクト』をスタートさせました。

※イメージ図



雨水しみこみプロジェクト キッズページ

ゲームで楽しく豪雨対策について学ぼう！

※イメージ図

3. 認知度・意欲の向上のための今後の展開取組

◆ コンセプトブックの発行 (※令和6年度末に第1弾)

◆ 先行実施事業を民間施設に拡大を検討

取組を公共施設に加え、民間施設や個人に広く展開へ

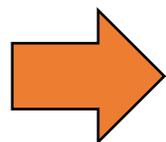
Step ①

公共施設
(公園、道路、河川 etc.)



Step ②

民間施設 (商業施設、再開発 etc.)
個人 (マンション、戸建て etc.)



・ 都民の認知度と意欲の向上

(都民に目にとまりやすく、実践してみたいくなる施設へ導入を検討)

・ 施設整備に伴う経済波及効果の考え方を見据えた検討

3. 認知度・意欲の向上のための今後の展開取組

◆ グリーンインフラのムーブメントをさらに拡大していく施策展開に

